2026年11月11日

各　　位

会　社　名　株式会社共和コーポレーション
代 表 者 名　代表取締役社長　　宮本　和彦
（コード番号：6570　東証スタンダード）
問 合 せ 先　執行役員経営企画室長
兼 経理部長　酒井　孝幸
（TEL. 026-227-7712）

2027年３月期第２四半期(中間期)連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年５月13日に開示いたしました「2027年３月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」における第２四半期(中間期)の連結業績予想と、本日開示の実績値との間に差異が生じましたこと、及び最近の業績動向を踏まえ、2027年３月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2027年３月期第２四半期(中間期)業績予想と実績値との差異について
（2026年４月１日～2026年９月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（A）	百万円 12,910	百万円 925	百万円 944	百万円 576	円　銭 96.43
今回実績（B）	16,299	1,929	1,946	1,150	192.36
増減額（B－A）	3,389	1,004	1,002	574	
増減率（%）	26.3	108.5	106.1	99.7	
(参考)前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	9,713	786	777	474	79.60

２．2027年３月期通期連結業績予想の修正（2026年４月１日～2027年３月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 26,870	百万円 2,000	百万円 1,992	百万円 1,219	円　銭 203.85
今回修正予想（B）	31,273	3,315	3,302	1,964	328.17
増減額（B－A）	4,403	1,315	1,310	745	
増減率（%）	16.4	65.7	65.7	61.1	
(参考)前期実績（2026年３月期）	20,729	1,757	1,741	1,122	188.13

３．差異及び修正の理由

当中間連結会計期間におきましては、主力のアミューズメント施設運営事業において景品ゲームの人気が引き続き高い水準で推移し、幅広いお客様にご利用いただいたことに加え、新規出店店舗も業績に大きく寄与いたしました。また、アミューズメント機器販売事業においては景品ゲーム市場の活況を背景に、景品ゲーム機器の販売台数が増加したほか、ぬいぐるみやフィギュア等の景品販売についても幅広い需要に支えられ、売上高の増加に寄与しております。トレーディングカード販売事業におきましては、新規出店による店舗網の拡大や前連結会計年度に子会社化した道楽株式会社との相互送客等が奏功し、事業基盤が拡大いたしました。また、その他事業におきましては株式会社ブルームが販売するスクイーズ商品の人気が引き続き高い水準を維持し、常設店舗、ポップアップ店舗ともに好調に推移しております。空港等への出店を行ったことにより、海外顧客の取り込みにも成功し、EC サイト含め、海外への輸出も増加しております。

これらの結果、連結売上高は前回公表した業績予想を上回る結果となりました。利益面につきましても、売上高の増加に伴う利益の押し上げ効果等により、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する中間純利益がそれぞれ前回予想を上回りました。

通期連結業績予想につきましては、当中間連結会計期間における業績が当初の想定を上回ったことを踏まえ、下半期の事業環境や各事業の業績動向、今後の費用発生見通し等を総合的に勘案し、通期の業績見通しを改めて精査いたしました。その結果、売上高及び各段階利益が前回公表した予想を上回る見込みとなったことから、通期連結業績予想を上記のとおり上方修正することといたしました。

（注）上記の業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において当社が入手している情報に基づき合理的であると判断する一定の前提により作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。開示すべき重要な事象が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

以上